

プレーヤのビジュアルテスト

レコードプレーヤというものはともかく音を聴くためのものですから、そのテストも音で行なうのが本当なのですが、最近のように性能が向上してきますと、音で判別すると同時に、もっとはっきりした形で、たとえば数値とか、図形で表示できるとわかりやすいものです。

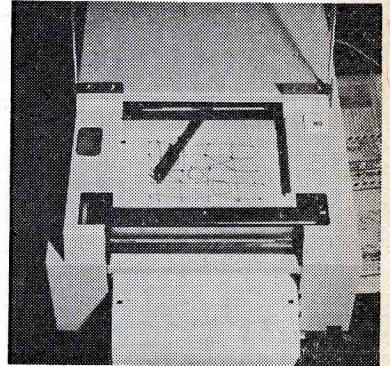
その詳しい方法の説明は67頁に載っていますが、ビジュアルテストというのは、プレーヤのワウ・フラッターの具合を、目で見て直感的に見当つけよ

うという方法で、定量的な測定ではありませんが大変面白い比較方法です。

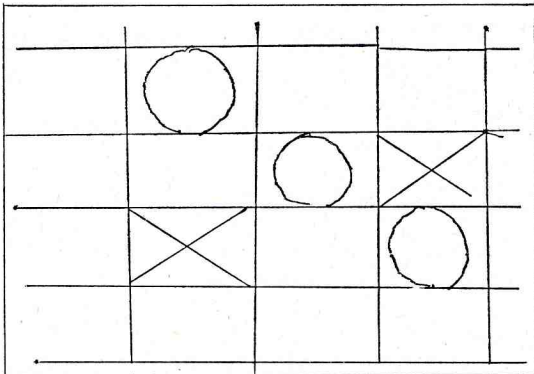
テレメールの再生図形で線が細かくふるえるのはフラッターによるものですし、ゆっくりとうねるのはワウによるものです。また全体に斜めにゆがむのは回転数の合わせ方がまずかった(実験者の不手際)ということです。

ワウ・フラッターの具合をオシロスコープの波形で眺めるよりは、このような方法のほうがわかりやすいのではないかと考えて、装置一式をソニー(株)

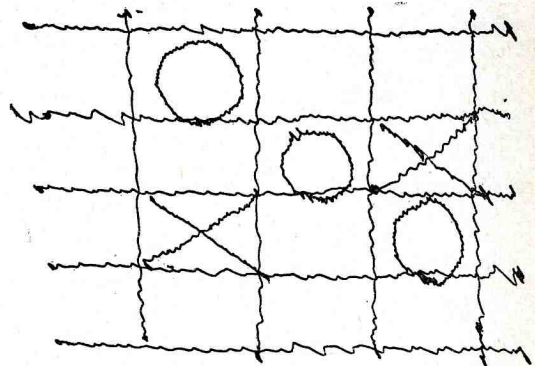
から借用して今回テストのプレーヤ21機種について編集部で実験してみました。結果としては予想以上に良い図形が得られ、最近のプレーヤの性能の良さを改めて確認した形になりました。



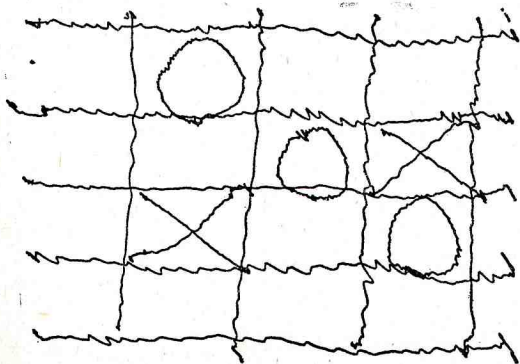
原 画



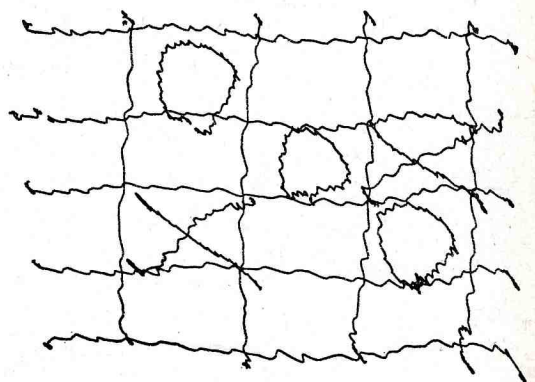
テクニクス
SL-20
26,800円



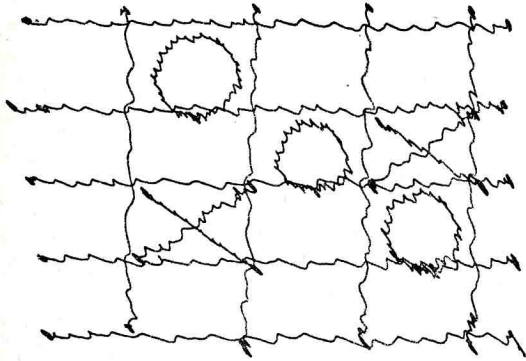
ローテル
RP-3000
39,000円



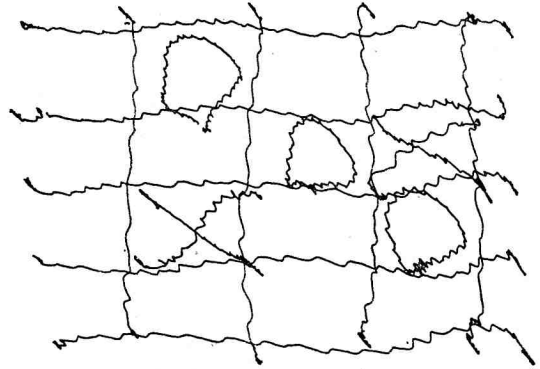
ローディー
PS-38
39,800円



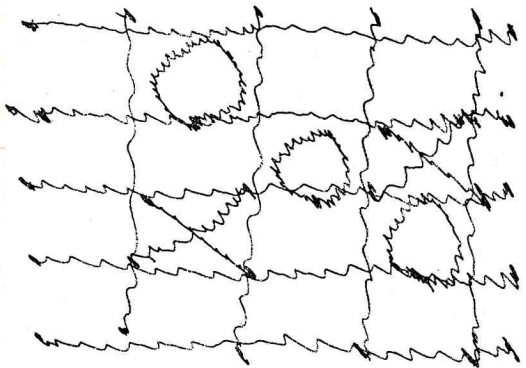
オンキヨー
CP-700 M
41,000円



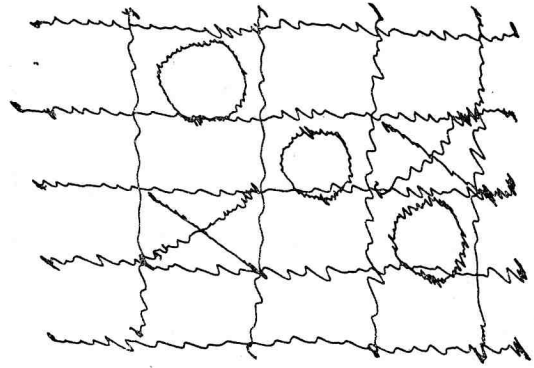
ヤマハ
YP-511
43,800円



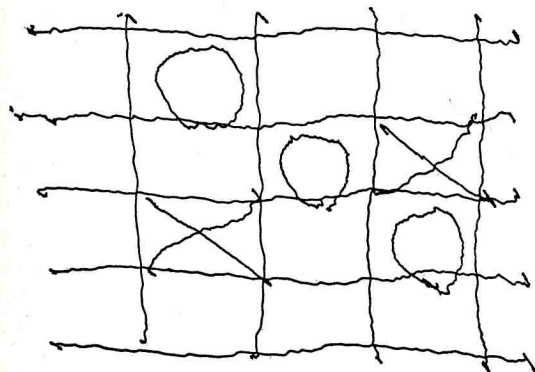
オーレックス
SR-355 D
44,800円



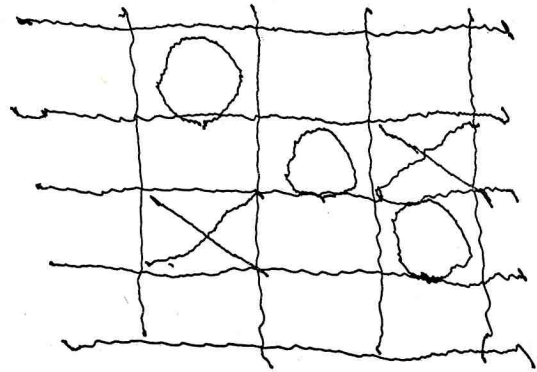
CEC
BD-7000
44,800円



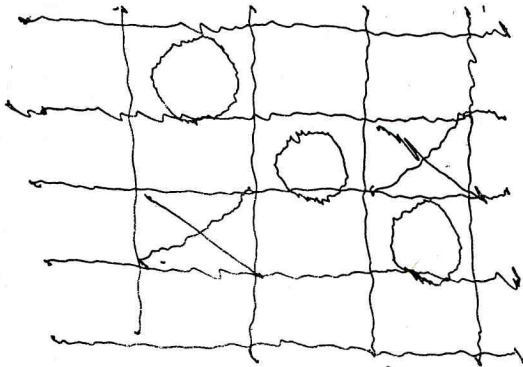
パイオニア
PL-1250
45,000円



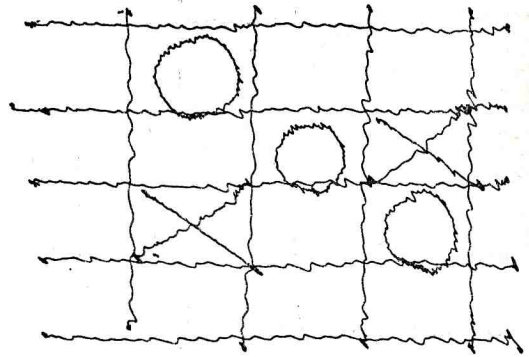
クラリオン
MP-7800
46,800円



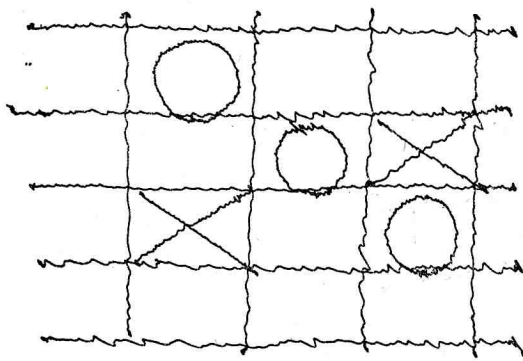
デンオン
DP-790
47,000円



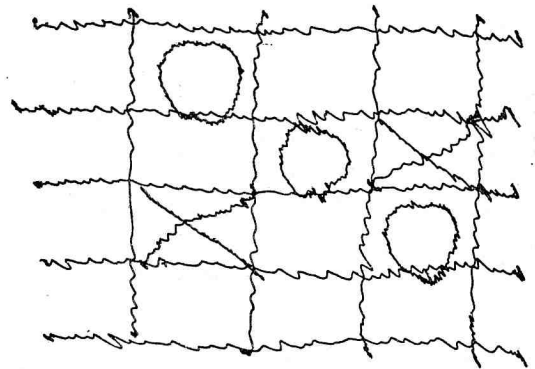
ソニー
PS-3750
47,800円



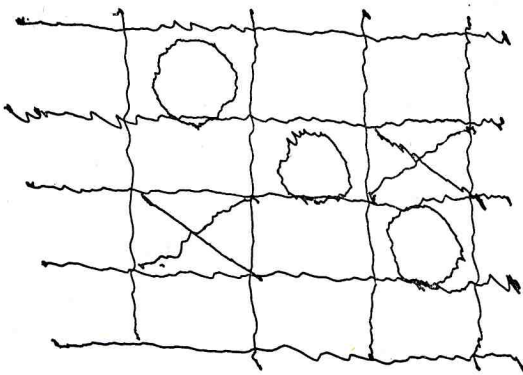
オットー
TP-1200
49,800円



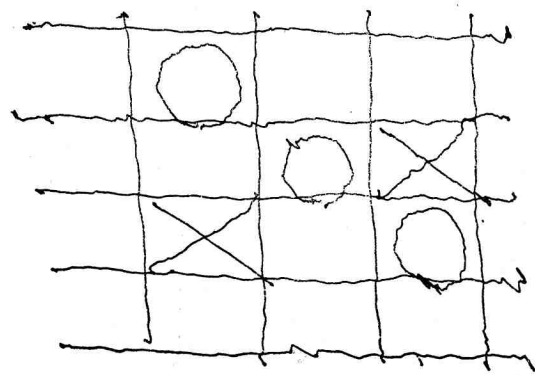
テクニクス
SL-1500
49,800円



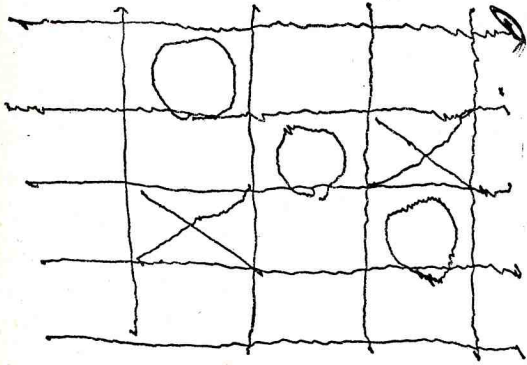
オプトニカ
RR-3500
59,800円



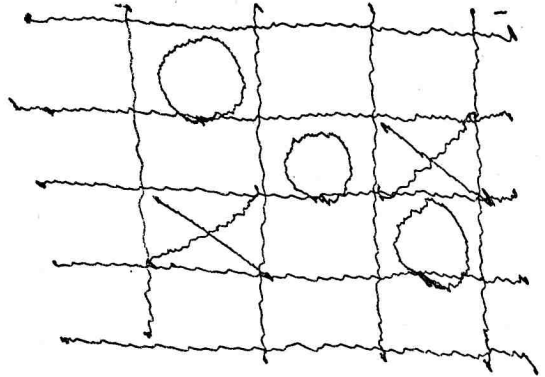
トリオ
KP-7500
54,000円



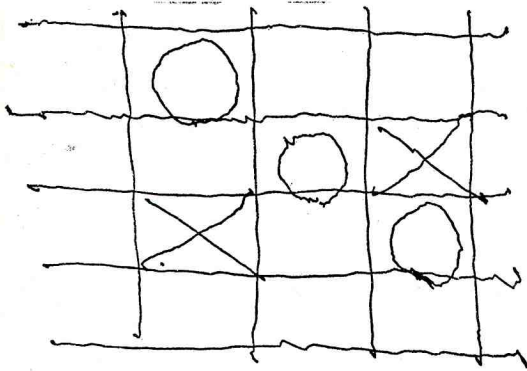
マイクロ
DD-5
54,800円



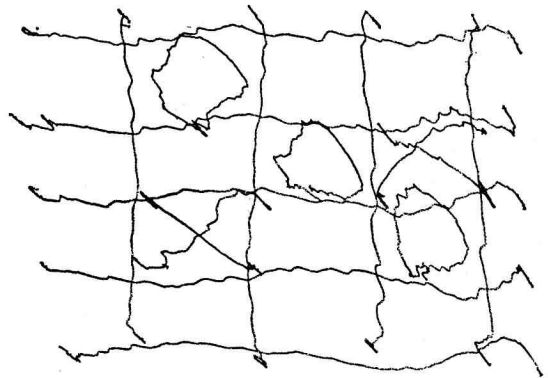
ダイヤトーン
DP-9 D
59,000円



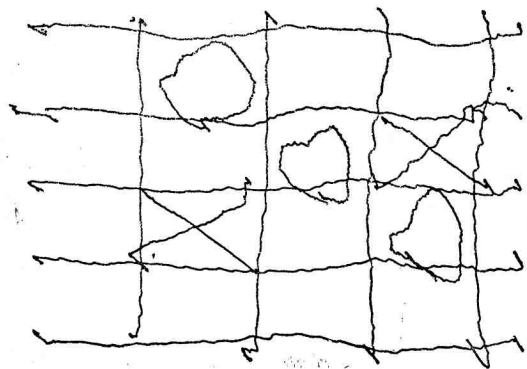
ビクター
JL-B 61 R
89,000円



BSR
810 XL
79,000円



デュアル
1249
79,800円



ラックス
PD-131
88,000円

